



“心豊かに
笑顔あふれる”

青森県
総合社会教育センター

響

所報〈ひびき〉

No.
108

平成29年 6月23日

「学びて倦まず」

所長 三上 盛一



当センターは、平成元年の開所から来年で30年になります。これまで、社会教育団体、学校教育団体、民間団体などの団体利用を含め、延べ約175万人の県民の皆様にご利用いただいています。

開所時は、「調査・研究」「指導者研修」「学習情報提供」「相談」「学習事業開発」「広域学習」の6本柱の事業体系でスタートしています。

「21世紀を担う人づくりの拠点」として、活力ある青森県の創造に向けた指導者を育成する「クリエートあおもりセミナー」、自己の向上意識に満ちた県民の育成を目指し、ノーベル賞受賞者などの著名人による講演会である「あすなる県民大学」、県民の身近な情報や学習の素材を取り上げ、広く重要な課題を考えるテレビ番組を制作し放送する「150万人のテレビ講座」など、生涯学習社会の実現に向けて先駆的で特色のある取組を行ってきました。社会の変化や県民のニーズに応じて、当時の形を変えながらもDNAを伝えている事業が今でも多くあります。

現在は、平成24年度からセンター業務の一部に指定管理者制度を導入したことを契機に選択と集中を図り、重点事項として、「人財育成」「教育活動支援」「市町村・団体支援」「生涯学習活動支援」「施設提供」の5本柱で取り組んでいます。

そのような歴史の中で、平成9年からは、当センターの看板事業である「あおもり県民カレッジ」がスタートしました。

自前の講座だけではなく、市町村や高等教育機関、民間事業者等と連携し、学習情報、学習機会、評価サービスを県民に提供しており、学生数は約2万1千人、連携団体が約700団体までになっています。

また、更なる賑わいのあるセンターづくりのため、隣接する県立図書館とも連携しながら、ラーニングスペースの設置や高校生・大学生の主体的・自律的な活動に対する支援、親子が気軽に集まり子育ての悩みなどを話し合える「ほのぼのルーム」の設置など、県民の皆様のニーズに沿った利用しやすいセンターとなるよう取り組んでいます。今日も、所長室の隣の部屋では「絆でつながる家庭教育支援セミナー」が行われており、お母さん方と子どもたちの笑い声が聞こえています。

平成2年に生涯学習振興法が施行されて四半世紀が経過しました。今では「生涯学習」という言葉はすっかり定着していると思いますが、学ぶことに終わりはありません。

「三十にして立つ」にあたり、「あすなる県民大学」の講演集録のタイトルである「学びて倦まず」に込められた思いを大切にしながら、当センターの運営方針である「社会教育の充実振興を図り、県民の生涯にわたる学習意欲の高揚と学習活動の進展に資する」ため、市町村や関係機関・団体と連携・協力しながら、社会や県民の皆様の期待に応えるセンターとなるよう、職員・指定管理者が一体となって努力して参ります。

青森県総合社会教育センター

検索

〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 TEL 017-739-1252 FAX 017-739-1279 <http://www.alis.pref.aomori.lg.jp/>